

経営比較分析表（平成28年度決算）

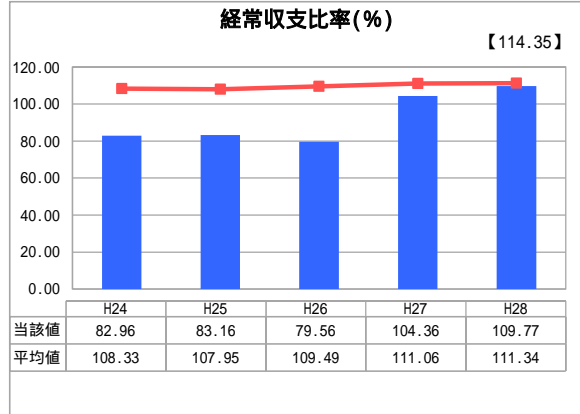
三重県 紀宝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	33.48	95.90	3,120	

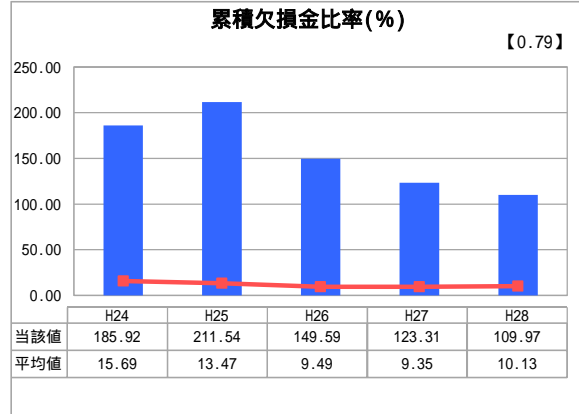
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,386	79.62	143.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,838	15.86	683.35

グラフ凡例
当該団体値(当該値) - 類似団体平均値(平均値) 【】平成28年度全国平均

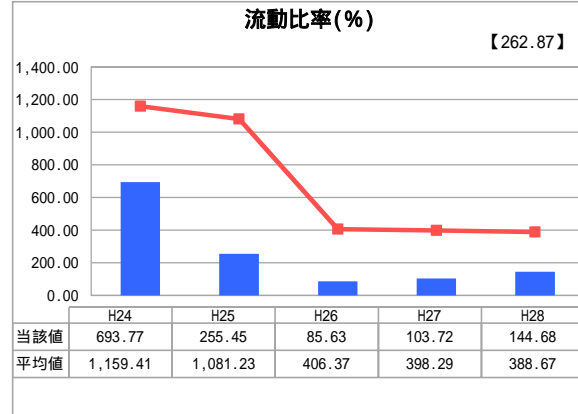
1. 経営の健全性・効率性



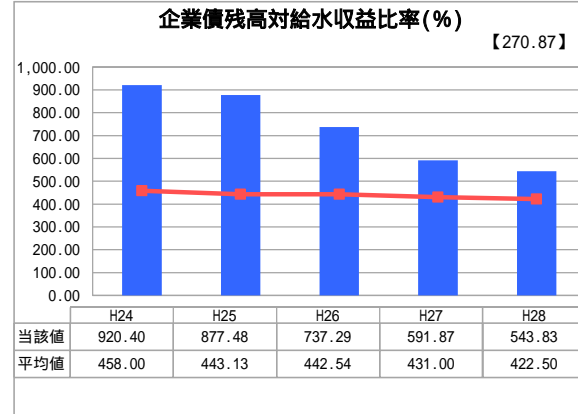
「経常損益」



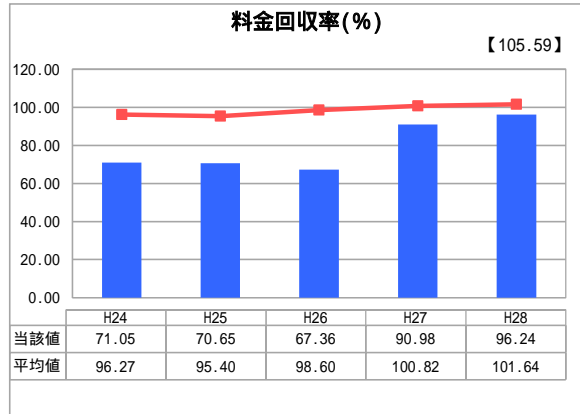
「累積欠損」



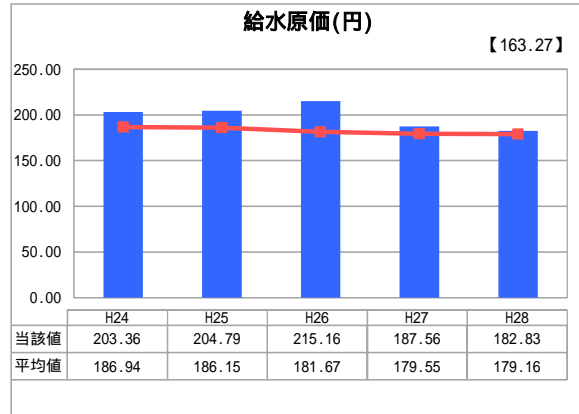
「支払能力」



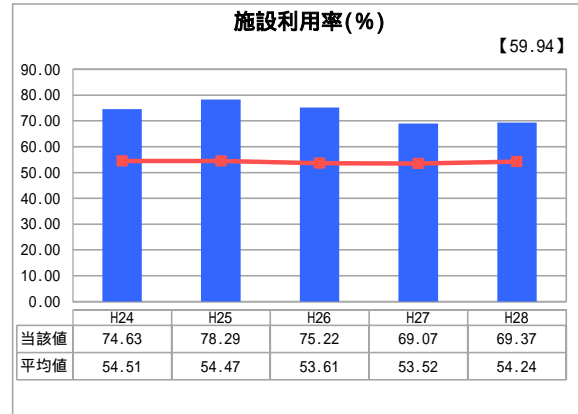
「債務残高」



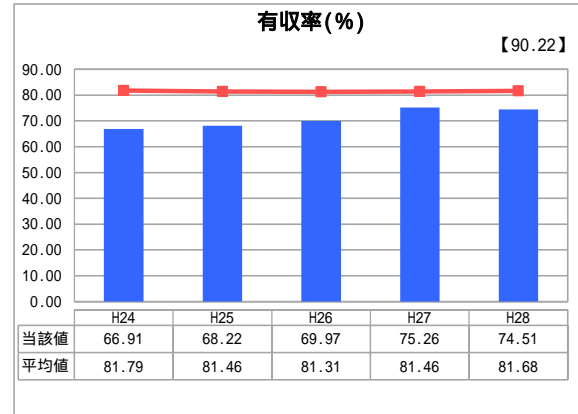
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

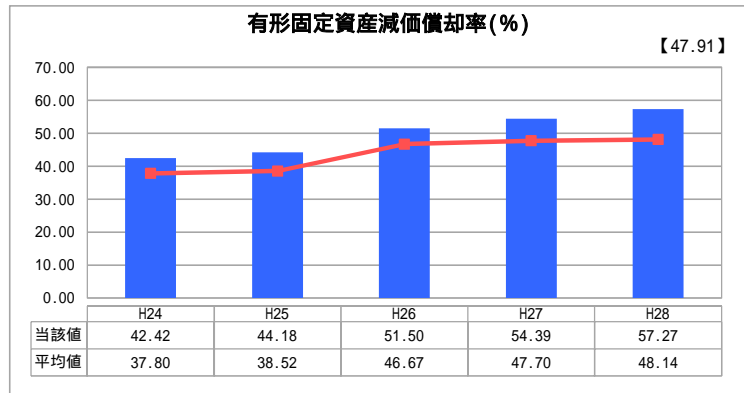


「施設の効率性」

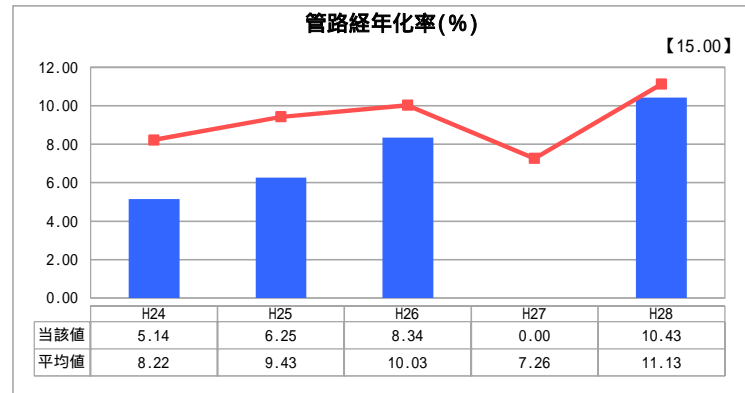


「供給した配水量の効率性」

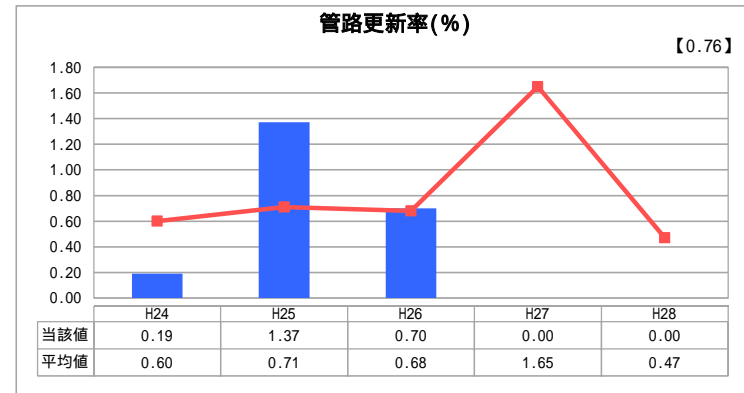
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度に料金改定を行ったこともあり、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っており、料金回収率も改善が見られた。しかし、類似団体と比べると平均値を下回っており、今後施設の更新にかかる財源などを確保する為にも、経営改善に向けた取組を継続していかねばならない。累積欠損金比率は減少しているものの、まだまだ有している状態であり、0%となるよう経営改善を図っていく必要がある。流動比率においては100%を上回っているが、類似団体と比べると平均値を下回っている。企業債残高対給水収益比率は少しずつ改善してきているが、類似団体の平均値には至っていない。施設利用率については、余裕があり特に問題はないと思われる。有収率は昨年と比べ若干減少しており、また、全国平均、類似団体と比べてもまだ低い状態にある為、有収率のさらなる向上に努めていかなくてはならない。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が高く、資産の老朽化が進んでいる状況であるが、施設を更新する財源の確保が難しい状況である。H27年度の管路経年率及び管路更新率は、入力誤りにより0となっているが、管路経年率は10.02%、管路更新率は0.30%である。管路経年率は類似団体より低くなっているが、H28年度は管路更新率0%と更新が行えておらず、管路の老朽化は進行している。必要な財源を確保しつつ計画的な更新が必要である。

全体総括

平成27年度に料金改定を行ったことにより、料金改定以降は経常収支比率は100%を上回っており、累積欠損金比率も減少してきている。今後とも費用の抑制及び収益の確保において改善を行い、累積欠損金比率を0%に近づけるよう努める。有収率についてもさらなる向上の為、効率的に漏水修理を行っていく必要がある。施設及び管路の老朽化が進んでおり、必要な財源を確保しつつ計画的な更新が必要である。

平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。